(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」指導計画書

(惊八)		)				がして十分		ひ」ホン		11年11四百					
学校 番号		0		学村	交名 屋伯	弋南高等学校	高等学校	夕新		「探求から探究へ」					
		Z	6	課	程	全日	制	名称							
			H/N				11:1	ניוו							
兴	在		3		学 科	普通・ラ	イフデザイン	科	生往粉	12	Y	単位数	1 単位		
学年		3			コース			コース	生徒数	12	人	時間数	35 時間		
					(1) フレームワークやセルフ・ディベート、思考実験等を通して論理的思考						ルナス				
	E	1	標		(1) / レームリー/ やセルノ・ディベート、思考美願寺を通して論理的思考法を身につける。  (2) 基礎的な知識を学ぶとともに、進学後に研究対象としたいテーマを選らんで調査・考察、また今日の問題								の問題につい		
(育				七力)		一会によるないできることができます。 お客し、進学後の考察やプレゼンテーションや論文作成の能力を身									
					(3) 大学や医療	3)大学や医療系専門学校の学習内容に対応できるような基礎学力や社会的知識や考え方を身につける。									
					(1) 1 学期/4 診	理的田老注》:	カわカルフ・ディベ	`一\ 田去	宇殿ダ	さか涌してき	ショ か田 老 が				
					(1) 1学期は論理的思考法について学び、フレームワークやセルフ・ディベート、思考実験等を通して論理的思考だできる力を養う。また、進学先の学校について調べるとともに、進学後の学びについて研究テーマを個別に設定し、										
<i>(</i> <del>1</del> ⁄π	P Henry				学びを深める。	0 (2 ) (	. 1917 [	,	1/3 1( a) ( a						
		トる課題につ 権にすること)			(2) 2学期前半は入試対策として、論理的思考に基づいた志望理由書・小論文・面接対策を行う。また、1号き研究テーマの深化をはかる。2学期後半は研究結果の発表を行い、プレゼンテーション力を養う。								、1学期に続		
`	- 171H										/ョンナ	」を養う。			
					(3) 3字期は目	身の進路に関するテーマを論文・レポートをまとめ、発表す				<u>್</u>					
学期	時	_		曜	時 限		内	内容		المراجعة المراجعة			備考		
	間	月	目	日	時間帯	単元	各回の学習内容		指導方法		(教材、場所等)				
						<b>平</b> 儿		, . , ы,	14						
	1	4	14	金	6時限	STEP1	オリエンテーション		全体活動			講堂			
	2	4	21	金	6時限	探究入門	講座の目標:「論理的」	思考とは何	「か」についての解説	講義			HR教室		
	3	4	24	月	6時限	STEP2 志望理由書 を書いてみ よう	フレームワーク1:	<i></i> プラミッド	・ストラクチャー	作業			HR教室		
	4	5	12	金	6時限								HR教室		
1	5	5	26	金	6時限		②志望理由をフレームに構築する			作業			HR教室		
	6		2	<u>业</u> 金	6時限		◎心至社出 € > ↑	-11011	1747 0	作業			HR教室		
		6					③フレームを用いて志望理由書を書く		自由書を書く						
	7	6	9	金	6時限				作業			HR教室			
	8	6	16	金	6時限		④志望理由書の推			作業			HR教室		
	9	6	30	金	6時限	社会の諸問	フレームワーク2:	メモリー・	ツリー	作業			HR教室		
	10	7	14	金	5時限	題について	①テーマについて様々な視点で考える		作業			HR教室			
	11	7	21	月	3時限	多角的な視	②考えられるケースをフレームで図式化する		作業			HR教室			
	12	7	26	水	2時限	点で考えて	③セルフ・ディベートで自分の主張を確立する		作業			HR教室			
	13	8	25	金	6時限	STEP4	ディベート: 説明とチーム編成		グループワ	フーク		HR教室			
	14	9	1	金	3時限		①チームの作戦会			グループワ	フーク		HR教室		
	15	9	8	<u>业</u> 金	6時限		②ディベート1回目			グループワ			HR教室		
					3時限	自分の考え	③チームの作戦会		ことの1.4をご)	グループワ			HR教室		
	16	9	15	水		を論理的に			返りと修正)				-		
2	17	9	29	金	1時限	議論してみ	④ディベート2回目			グループワ			HR教室		
	18	9	29	金	2時限		⑤ディベート3回目			グループワ			HR教室		
	19	9	29	金	3時限		⑥まとめ			グループワ	フーク		HR教室		
	20	10	6	金	6時限		①研究テーマ設定	ごのための	の調査	作業			HR教室		
	21	10	13	金	6時限		②調査・研究・まとめ ③プレゼンのための準備			作業			HR教室		
	22	10	20	金	6時限					作業			HR教室		
	23		27	金	6時限					作業			HR教室		
	24		10	金	6時限	STEP5			作業			HR教室			
	25		17	金	6時限	進路に向				作業			HR教室		
	_	_				け、専門的なテーマを			作業						
	26	_	1	金	6時限	設定して探							HR教室		
	27	12	8	金	2時限	究してみよう	④学習発表会に向けての準備		<b>準備</b>	作業			HR教室		
	28		8	金	3時限		⑤学習発表会で発表			作業			HR教室		
	29	12	8	金	4時限				作業			あんずホール			
3	30	12	8	金	5時限					作業			あんずホール		
3	31	12	8	金	6時限					作業			あんずホール		
	32	12	15	金	6時限		プレゼンテーション 探究を振り返る		作業			HR教室			
	33		22	金	6時限	STEP6			作業			HR教室			
	34	1	12	金	6時限	発表			作業			HR教室			
	35		19	金	6時限	<ul><li>・振り返り</li></ul>				作業			HR教室		
	JJ	00 1		7IV			木九ど派リ込の			117末			111147		
					【評価の観点】	た研究活動が	行われているか								
						テーマに沿った研究活動が行われているか。 多角的な視点で考察がなされているか。									
					・論文・レポートが適切にまとめられているか。										
評	価の	)観,	点・力	法											
					【評価の方法】	【評価の方法】 ・調査や論文・レポート作成、桜苑祭や学習発表会での発表にへ積極的に関わっているか。 ・卒業論文やレポート等の提出物の内容と提出状況。									
	・評価カードや学習記録などによる自己評価や相互評価														